

おおふなと市民ミーティング 第2回グループワークまとめ <1グループ>

男女共同参画が進んだ10年後の大船渡市、その理由は？

男女共同参画が進まない10年後の大船渡市、その理由は？

模造紙の上半分には「社会、世の中、地域社会」に関連するもの、下半分には、「各個人、草の根」に関連するものに区分して話し合った。

【社会・世の中・地域社会】における理由としては次のとおり。

- ・企業が、社内研修、社員教育として男女共同参画に取り組んだことによる。さらに経営層や意思決定層が参加することで男女共同参画が進むと思う。
- ・企業から広がっていくことで、最終的に社会として、働き方の多様性や、管理職などにおける女性割合がどんどん高くなっていくと思う。
- ・介護、子育ての分野においても広がりがつくられることで、男女共同参画が進むと思う。
- ・大船渡市でもパートナーシップ宣誓制度が開始された場合において、その制度がきちんと理解されて浸透していき、当事者だけではなく、周りの人たちもしっかりと理解してどんどん広がっていったら、10年後に男女共同参画が進んだと言えると思う。

【各個人・草の根】を理由とするものとしては次のとおり。

- ・市民ミーティングのような交流の場が増えていくことで、意見交換などが活発にでき、男女共同参画が進んだと言えるようになると思う。
- ・学びの場がたくさんできたら、それにより、どんどん個人が知識を吸収したり、意見を発信したりといった個々の取組が増えていくと思う。
- ・活発な活動を行う大人が増えることで進むと思う。
- ・現在も、市民ミーティングのような場や、活動をしている人がいるのかもしれないが、ただ知らないだけかもしれない。関連情報を明らかにして、しっかりと若い世代にも伝わるような状況が作られていくことで進むと思う。
- ・市民ミーティングや男女共同参画の取組が進むことで、高校生の中でも活動が活発になり、進んでいくと思う。
- ・色々な活動や運動をすることが、「よくないこと」「カッコ悪い」という見方が変わっていくことで進んでいくと思う。

【社会（行政）】に関連する理由としては次のとおり。

- ・国の方針や政治家が取り組むかどうかは鍵であるが、取り組まなければ進まないと思う。
- ・政治家が理解し、取組を推進していかないと大船渡は進まないと思う。それには、市長や地方議員などの理解も含まれると思っている。
- ・制度を決める人たちが、議会を含めて取り組もうとしていかないと10年後も進まないと思う。

【個人】を理由とするものについて次のとおり。

- ・「男女共同参画の取組が進んでいない」という意識が、まさに変わっていないことの原因であり、さらに10年後を考えたときにも、このまま変わっていない可能性があると思進まないと思う。
- ・意識改革や取組はどうせ変わらないだろうという感覚が変わらないと進まないと思う。
- ・大事なことと思っても変わらない、諦めている感じがあると進まないと思う。
- ・違和感を持つ人は、子どもを市外へ出してしまい戻らないようにする。そのような状況が続いていくと、結果、人が戻って来ない町になるため、男女共同参画も進まなくなると思う。
- ・男女共同参画の取組が進まない、違和感が解消されないままの町では、人は市外へ出た後に帰って来なくなるため、進まなくなると思う。
- ・若い世代にとって、「親」や「学校」が変わらずに価値観を押し付け続けていると、男女共同参画が進まないと思う。
- ・なんらかの違和感がある人に対して変な目で見たりして、他人を認めようとしないう意識があると進まないと思う。
- ・LGBTQについて、他人を「見た目」で思い込んでしまう意識がある。関連活動を起こそうと思っても、賛同する仲間が増えなかったり、活動する人たちを悪目立ちのように捉えられたり、頑張ろうと思っている人が格好悪く見られてしまう、というようなことが起こり続けている。受け止める人の意識などを変えないと、男女共同参画がうまく進んでいかないと繋がると思う。

進んだ理由

1グループ

進まない理由

社会

10.11.23の
宣言制度が
普及し、活用が
増え、活用が
増えた。

男女間賃金格差
の情報開示、
・格差の是正

働き方の
多様化

管理職の
女性割合
が高い。

777-0-0の
賃金UP
eg) 保母、介護

利用料が
上がらず、
777-0-0の
賃金が上がる。

国
の方針
政治家に
性の多様性
がない

管理職
に
男性ばかり

賃金 (根拠の)
格差

ハラスメントの
問題と
すれ違い

変わる
原因と
思っている

市民の声が
政治に
届かない

仲間が
少ない

専業主婦の人も
おもしろい
制度がある
→
石井留の
フェス!

10.11
フリース
専業主婦

市のトップが
変化を
おこなっている

男女共同参画室と
かがり-が
頑張って
声をあげた!

違和感に
気づいた人
たちは外へ

見ている
ジェンダー・sex
が分かる
鬼になっている
自分の同性
LGBTQ+
がいないと
鬼になっている

自分が良いのは
それだけ
持全体で
未来を担う人たちを
考えていない

文のいかに
NOを
言えない

上の世代
は
とくびか
てくびか

活動する人が
悪目立ちする

「意識高い」
と線引きする

価値の
見直し

「男がせう」
という価値感
がない

市民の声が
政治に届く

経営層も
決定権の
ある者

コンプラ
研修が
ずるんとある

1度出たら
帰ってこない
(シビレ療養)

個人の問題
「仕事はいい」
を見つめる

小さな声を
社会問題として
捉える

社会運動
ってかっこいい
風潮

市議会に
議員になる

探究活動で
高校生が
地域に
出ていく!

地域への
参入機会
が少い

変わっていく
という意識

ロジック

変わっていく
の
スタンス

変わっていく
の
継承
変化は後押し
10.11.23
見て見ぬフリ
する人が多

めんどうくさい

同一は
他者と
分けられる

親が役割
ロールモデル
がいない

活き活きと
偉い大人が
少ない

自分の考えを
押しつける

がんばろうと
する人と
がんばらないと
する

家
の
空気

親が役割
ロールモデル
がいない

活き活きと
偉い大人が
少ない

自分の考えを
押しつける

「女家」
って言い方

第一人称の
多様化
X

男女が
おもしろい
制度がある
→
石井留の
フェス!

10.11.23
宣言制度が
普及し、活用が
増え、活用が
増えた。

男女間賃金格差
の情報開示、
・格差の是正

働き方の
多様化

管理職の
女性割合
が高い。

777-0-0の
賃金UP
eg) 保母、介護

利用料が
上がらず、
777-0-0の
賃金が上がる。

国
の方針
政治家に
性の多様性
がない

管理職
に
男性ばかり

賃金 (根拠の)
格差

ハラスメントの
問題と
すれ違い

変わる
原因と
思っている

市民の声が
政治に
届かない

専業主婦の人も
おもしろい
制度がある
→
石井留の
フェス!

10.11
フリース
専業主婦

市のトップが
変化を
おこなっている

男女共同参画室と
かがり-が
頑張って
声をあげた!

違和感に
気づいた人
たちは外へ

見ている
ジェンダー・sex
が分かる
鬼になっている
自分の同性
LGBTQ+
がいないと
鬼になっている

自分が良いのは
それだけ
持全体で
未来を担う人たちを
考えていない

文のいかに
NOを
言えない

上の世代
は
とくびか
てくびか

活動する人が
悪目立ちする

「意識高い」
と線引きする

価値の
見直し

「男がせう」
という価値感
がない

市民の声が
政治に届く

経営層も
決定権の
ある者

コンプラ
研修が
ずるんとある

1度出たら
帰ってこない
(シビレ療養)

個人の問題
「仕事はいい」
を見つめる

小さな声を
社会問題として
捉える

社会運動
ってかっこいい
風潮

市議会に
議員になる

探究活動で
高校生が
地域に
出ていく!

地域への
参入機会
が少い

変わっていく
という意識

ロジック

変わっていく
の
スタンス

変わっていく
の
継承
変化は後押し
10.11.23
見て見ぬフリ
する人が多

めんどうくさい

同一は
他者と
分けられる

親が役割
ロールモデル
がいない

活き活きと
偉い大人が
少ない

自分の考えを
押しつける

がんばろうと
する人と
がんばらないと
する

家
の
空気

親が役割
ロールモデル
がいない

活き活きと
偉い大人が
少ない

自分の考えを
押しつける

「女家」
って言い方

第一人称の
多様化
X

個人
草の
根

おおふなと市民ミーティング 第2回グループワークまとめ <2グループ>

男女共同参画が <u>進んだ</u> 10年後の大船渡市、その理由は？	男女共同参画が <u>進まない</u> 10年後の大船渡市、その理由は？
<p>「個人」としての理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の言葉の定義をみんなが理解すると進むと思う。 男女共同参画を進めるにあたり、広い意味で、人権意識をみんなが持ち、人権を理解する取組が広がれば進むと思う。 <p>「職場、仕事」における理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の能力により評価されることで、年功序列や、性別で仕事を限定されず、職種において性別による偏りがなく、やりたい仕事に就くことができるようになれば進むと思う。 妊娠、出産、育児による休職に対して、行政が人材を派遣するシステムを作る。また、代替人員について、企業だけの負担とするのではなく、行政のサポートがあると進むと思う。 <p>「家庭、地域社会」における理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の中でもそれぞれが尊敬され、互いに助け合い、仲良く暮らせれば進むと思う。 世代による価値観の違いを、家庭で話し合えることで、互いを尊重できる家庭を作っていければ進むと思う。 互いを尊重するという男女共同参画の考え方が広がり、誰もが、誰かに対してやってもらったことについて、互いに感謝し合う風潮が広がれば進むと思う。 社会の縮図が家庭であり、家庭の中における男女共同参画が広がっていけば進むと思う。 高齢者世帯が暮らしやすいと感じる施策が進み、生活を大切にすることができていければ進むと思う。 性別を役割として固定しない考え・意識が広がれば進むと思う。 若い人たちの家庭はこうだからという固定観念を持たないこと。 互いを感謝する気持ちをもって、互いが互いを理解する努力をすることにより、仕事も地域もうまく回ることを市民が意識し、個々に取り組んでいこうとすることで、男女共同参画が進んでいくと思う。 	<p style="text-align: center;">進まない理由は進んだ理由の逆となる。</p> <p>「個人」としての理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に対しての言葉を知らない、知る機会がない、施策を知らない、知ろうとしない、興味を持たない、人ごとになっている、今の生活に疑問を持たない、変化を嫌っている、変わらないほうが楽と考える、主体的に何かをやろうとすることができない、という状態のまま10年が過ぎると進まないと思う。 進んだ理由の正反対と考えると、やはり「変化がない」のため、男女共同参画が進まないのではないかと考える。 <p>「職場、仕事」における理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事を選べない状況だと進まないと思う。 例えば漁業などにおいて、男女の役割としての仕事が固定化してしまっているため、なかなかいろんな仕事に就くことができないことから、仕事の仕組みを変えることが必要だと思うが、管理職などの意識が低い。また、それについて意見を言えない・言える職場環境になかったり、本音で話をするができなかったりすると、進まないと思う。 個々の能力が発揮できない状況だと進まないと思う。 出産を機会に仕事をやめなければならない。また、その風潮があると進まないと思う。 子育て支援が充実していないことにより、仕事を続けることができないと進まないと思う。 <p>「家庭、地域社会」における理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家父長制度が続いていると進まないと思う。 家事と子育ては女性の役割、外の仕事は男性の役割として、固定化されたままとなっていると進まないと思う。 家庭の中で、個々が尊重されていない。(ケアは女性の役割と固定化され、担わされているなど) このままの家庭だと、仕事もうまくいかないし、地域社会もなかなか変わっていかないため、10年後も大船渡では男女共同参画が進んでいない状況になっていると思う。

男女共同参画が進んだ理由

2班

男女共同参画が進まない理由

2グループ

「共同参画」の言葉の定義をみんなが知る

人権意識をみんながもつ

妊娠、出産、育児による休職に対し、行政が人材と派遣可能なシステムをつくる

管理職 個々の能力にふさわしく評価される

代替人員を企業がたけりなく、行政のサポートがある

性別を仕事と限定されない

職種に男女のかたよりがなくなる

やりたい仕事につくことが出来る

家庭の中をそれぞれ個々尊重されている

高齢家庭のくらしやすさを大切にしている

それぞれが手にお互い感謝しあう

社会の結核が、家庭!! 家庭の中を男女共同参画から

お互い助けあふ、仲良くくらう

世代による価値観の違いを、家族で話し合えること、お互いを尊重できる家庭を作る

性別と役割と固執しない、若い連の家庭

仕事

家庭・地域

男女共同参画の言葉を知らない、知ろうとしない、興味をもたない、とことしている

今の生活に疑問をもたない

変化を嫌、という

かわらない方が、らく!!

主体的に何かやろうとすることが、できない

仕事を逸採できない、家単位での仕事の仕組み(連携他)

管理職の意識が低い

意見を言える環境にない、本音を話さずかできない

個々の能力が発揮できない

出産を機に仕事をやめる

仕事

家庭・地域

家長制度が続いている

家事と子育ては女性の役割、外の仕事は男性の役割

家庭の中で、個々を尊重されていない

おおふなと市民ミーティング 第2回グループワークまとめ <3グループ>

男女共同参画が <u>進んだ</u> 10年後の大船渡市、その理由は？	男女共同参画が <u>進まない</u> 10年後の大船渡市、その理由は？
<p>『人口減少』をきっかけに男女共同参画の重要性に目を向ける人が増える。</p> <p>『考える機会の増加』 → 『意識・認識の変化』 →</p> <p style="text-align: center;">『情報を得る・価値観の変化』 → 『「普通」が変わる』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くから行政が男女共同参画の取組を進めてきたことにより、各分野での実践活動が進んでいけば、進んだ社会になると思う。 ・このようなタウンミーティングがたくさん増えていけば進むと思う。 ・学校教育の中で、子どもたちの年齢ごとに、男女共同参画や働き方などを考え、学ぶ機会を作っていけば進んで行くと思う。 ・若年層や学齢期の人たちに、男女共同参画に関する教育機会を設けていけば進むと思う。 ・働き方改革の理念の実現、そして、IT機器等の活用による業務、家事労働を含む仕事の効率化を進めていくことにより、女性の起業が増え、女性管理職やマネジメント層の増加に繋がり、男女雇用機会均等が進むことにより、進むと思う。 ・各分野で人との交流が活発になる場を増やすことにより、交流人口が増加し、大船渡を訪れる人や、住みたいと思う人が増加すれば進むと思う。 ・多様なセクター、官や企業、市民への普及啓発を行うことにより、オープンな場で男女共同参画について話し合う機会を増やせば進むと思う。 ・地域でも、理解や取組が広がり、家事や育児など、性別による偏った役割が与えられなくなっていけば進むと思う。 ・子育て支援を充実させていくことで進むと思う。 ・男性向けの家事・育児講座など、男性への支援の取組を行うことで進むと思う。 ・男女共同参画の考えが「普通」という価値観に浸透してそれが「普通」になり、「男女共同参画」という言葉を使わなくてもよくなれば進んだと言えると思う。 ・人権尊重の取組を進めていくことで、行政において男女共同参画室という専門部署を設けなくてもよいくらいに、地域が変わっていけば進んだと言えると思う。 ・男女共同参画が進展することにより、市内において多様な事業が増えれば、より 	<ul style="list-style-type: none"> ・どう取り組んでいいかわからない。また、わからないままにしていると進まないと思う。 ・男女共同参画に取り組まなくなる。取り組んでも、課題解決にならないような的外れな施策となっていると進まないと思う。 ・人口減少、少子高齢化によってワークライフバランスが崩れ、他人を思いやる心が失われると進まないと思う。 ・LGBTQやマイノリティの方への差別を続けている。少数者である弱者への社会的配慮に反対の声がある状況だと進まないと思う。 ・これまでの価値観から抜け出せなかったり、他人任せにしたり、変化を嫌う、という風土がそのままとなっている状況だと進まないと思う。 <p style="text-align: center;">前段↑と後段↓の相互作用により、『負のスパイラル』に陥っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の考え方から抜け出せないことが原因となり、産業の衰退がさらに進むことで、男女共同参画が進まない社会になっていると思う。 ・地域経済の衰退により、会社での管理職層に女性が増えない状況だと進まないと思う。 ・雇用人口が減っていくことで、商店がなくなったり、観光客が減ったりする。働き手が不足し、子育て世代も減っていく。地域のつながりも減少していく状況だと進まない社会になって行くと思う。 ・上記のような状況では、若い人が地域に戻ってこなくなり、若年層が地域に留まらないため、進まない社会になって行くと思う。 ・若い人が減ると男女共同参画に係る意識の変化が進まず、男女間の家事や介護などの負担が現状の偏ったままの状態となり、結果として従来の不寛容な考え方があることに輪をかけて、それがさらに原因となり、地域全体が不寛容な社会になっていき、進まない社会になると思う。

男女共同参画が進んでいくと思う。

- ・様々な形で世代間交流が行われ、地域の支え合いがさらに広がることにより、家族の形、生き方の形が多様化していくため、進むと思う。
- ・子どもたちが、このような取組が広がっていく地域のよさに気づいて、大船渡に誇りを持てるようになっていくことで、男女共同参画が進むと思う。

上記のように、色々な理由が副次的に、かつ、相互作用により効果が高まっていくことで、男女共同参画が進んでいく社会になっていくと思われる。

◎3班への質疑

男女共同参画が進む理由の意見として、「IT機器等の活用により仕事が効率化して業務や家事労働が減る」という意見がある。例えば、家事の中で、洗濯は手洗いしていたものが洗濯機になるなど、家電機器の発展により効率化がかなり進んだが、現在でも女性の方が男性の約5.5倍、家事をしていると言われており、今後もどんなに新しい家電製品が生まれたとしても、その差は縮まらないと思われる。

IT機器等の活用に係る意見について、どういった取組を想定しており、どうしたら進んでいくと話し合ったのか？

◎3班の回答

電気機器による効率化が進んでいっても、家事負担は女性の方が大きいということに気がつけるようになり、差が縮むきっかけや、今までの意識を変えていこうという投げかけや流れにつながっていくのではないかと、という意見だった。

男女差による負担感に目を向けていく中で、負担軽減により余裕ができることで、家事労働などを誰が担っても他人を思いやる心や、もっと負担を減らす方向への意識付けをどうつなげていくのか、個々の意識を高めていくためのきっかけづくりになるのではないかとという意見だった。

進め

急激な社会情勢変化(戦中・戦後)に考えが対応しないうまま進ん

LGBTQなどは21世紀への差別化した考え
少敬者、弱者への社会的排除の考えが高まる

どうしてよいか
わからないままに
してしまっている
→ 少敬者の価値感の
変化を促す
↑
社会情勢変化の方向性
↓
他人をよせに
して何の行動
もしない
(市民)
変化を促す
行動
自動的に進む

男女共同参画に
とりにくくない
とくまのモトめる
(行政、市民も)
男女共同参画
施策をすすめる
ような動き、
流れがあった。
子育て施策が
まとはずれ
行政のこの施策
も推進に平等が
つかない。つたに
長時間労働が
是正されない

人口減少、少子化、高齢化
等による社会構造の変化は
少子・高齢化生活における
負担を増やしている
→ 少子化対策、高齢者
の暮らしを支えるための
施策が必要
→ 少子化対策、高齢者
の暮らしを支えるための
施策が必要

進め

産業の急激な
衰退

交流人口の
減少
商店がなくなる
景観光景が
減っていく
地域の魅力が
発信できなくなる

働き手が不足
子育て世代が
減る
地域のつた
かどとどん
なくなっていく

若い人が地域
に居てくれない
若年層が
地域に
留まらな
い
社会、地域

家事負担の
均等化が
進まない
家庭内
における高齢者
の介護負担の
不公平
男性が育児に
参加しない

人口減少
↓
目を見ている人

進め

3グループ

早くから
行政が男女共同
参画の取り組みを
進めてきたから
少子化対策、高齢
者対策、子育て
支援、防災、環境
対策など、多岐に
わたる施策が
実施されたこと
が大きな要因
として
少子化対策、高齢
者対策、子育て
支援、防災、環境
対策など、多岐に
わたる施策が
実施されたこと
が大きな要因
として

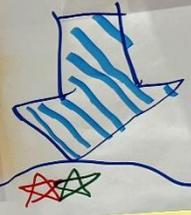
働き方改革の
理念の実現
IT、機器等の
活用による
業務効率化、
働き方の
多様化

女性の起業が
進む
女性管理職、
マネジメント層の
増加(議員含む)
男性の雇用機会
の平等化
向上

人との交流が
活発になる
場が できた
交流人口の増加
→ 少子化対策、
高齢者対策、
子育て支援、
防災、環境
対策など、多岐に
わたる施策が
実施されたこと
が大きな要因
として

多様なセクター
官、企業、市民の
男女共同参画の
普及促進を行う
オープンな場が
男女共同参画に
ついて話し合うこと
(性別、年齢、関心事)
若者の提言が
進んで、生かされて
いる
(若者支援の充実)
他の地域の人から
大規模に来ると
なった
(介護職、IT
人材など)

女性の家事育児
地域での役割が
かたよりにくく
子育て支援が
充実してきた
男性向けの
家事、育児講座
を行う
(料理教室等
含む)



考えの機会
↓
意識、実践の
変化
普通が変わる
↑
価値、価値観

人権尊重
の取り組み
進んできた
人口減少、少子化、
高齢化等による
社会構造の変化は
少子・高齢化生活
における負担を
増やしている
→ 少子化対策、
高齢者対策、
子育て支援、
防災、環境
対策など、多岐に
わたる施策が
実施されたこと
が大きな要因
として

男女共同参画
の取り組みが
進んできた
少子化対策、
高齢者対策、
子育て支援、
防災、環境
対策など、多岐に
わたる施策が
実施されたこと
が大きな要因
として

世代間の交流が
進む、地域との
交流機会が
広がる
住民の中にある
立場、思い、抱負
の共通点を探り
合点に近づける
家族と地域
互いに支えあ
う関係が
進んできた
(NPO、NKS)が
地域のお祭り
などのイベント
に地域交流が
進んできた

家族のつた
生き方のつた
多様化したこと
寛容性が
進んできた
世代間
の価値観
共有できる
ようになった
意識改革
進んできたこと
(学生、高齢者
の参加)

子どもと
地域との
関係が
進んできた
子どもたちが
大規模に
参加できるよう
なった

地域活動の
力をつける
地域交流の
促進